

# 岡山県の土地改良

## 平成30年度農林水産予算概算要求

**農林水産予算総額 2兆6,525億円 対前年度比115.0%**

**農業農村整備 3,793億円 対前年度比123.0%**

8月31日、農林水産省の平成30年度予算概算要求が発表された。農林水産予算総額は2兆6,525億円で対前年度予算比115.0%。一般公共事業費については対前年度予算比120.9%となっている。

### 平成30年度 農林水産予算概算要求の骨子

#### 総括表

区分	29年度 予算額 億円	30年度 要求・要望額 億円	対前年度比
農林水産予算総額	23,071	26,525	115.0%
1. 公共事業費	6,833	8,222	120.3%
一般公共事業費	6,641	8,030	120.9%
災害復旧等事業費	193	193	100.0%
2. 非公共事業費	16,238	18,303	112.7%

(注) 1. 金額は関係ベース。  
2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。  
3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

#### 公共事業費一覧

区分	29年度 予算額 億円	30年度 要求・要望額 億円	対前年度比
農業農村整備	3,084	3,793	123.0%
林野公共	1,800	2,161	120.0%
治山	597	717	120.0%
森林整備	1,203	1,444	120.0%
水産基盤整備	700	840	120.0%
海岸	40	47	117.0%
農山漁村地域 整備交付金	1,017	1,189	117.0%
一般公共事業費計	6,641	8,030	120.9%
災害復旧等	193	193	100.0%
公共事業費計	6,833	8,222	120.3%

(注) 1. 金額は関係ベース。  
2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。  
3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

今回の予算要求では農林水産業の成長産業化実現に向けて「農林水産業・地域の活力創造プラン」等に基づく8本の柱に沿って予算を要求している。

平成29年度で廃止となる「米の直接支払交付金」の財源(714億円)が焦点となる中、土地改良法の改正に伴い、農地中間管理事業と関連した農地集積・集約化等による基盤整備の推進、経営所得安定化対策(収入保険制度等)といった担い手に向けた支援に予算を重点化している。

## 概算要求の重点事項（一部）

### 1 担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進

(1) 農地中間管理機構による農地集積・集約化	
・農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化の加速化	2 1 3 億円
・農地の大区画化等の推進<公共>（農業農村整備事業で実施）	1, 3 2 8 億円
・農地耕作条件改善事業	4 0 7 億円
・果樹支援関連対策	6 0 億円
(2) 農業委員及び推進委員による農地利用の最適化	
・農業委員会の活動による農地利用最適化の推進	1 5 4 億円
・機構集積支援事業	2 9 億円
・経営体育成支援事業	3 8 億円

### 2 水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施

・水田活用の直接支払交付金	3, 3 0 4 億円
・畑作物の直接支払交付金	2, 0 0 5 億円
・水田の畑地化・汎用化の推進<公共>	1, 3 2 8 億円
・収入保険制度の実施	5 3 1 億円

### 3 強い農林水産業のための基盤づくり

(1) 農林水産基盤整備（競争力強化・国土強靱化）	
・農業農村整備事業<公共>	3, 7 9 3 億円
・森林整備事業<公共>	1, 4 4 4 億円
・農山漁村地域整備交付金<公共>	1, 1 8 9 億円
(2) 農林水産関係施設整備	
・強い農業づくり交付金	2 9 0 億円

### 4 農山漁村の活性化

(1) 日本型直接支払の実施	
・多面的機能支払交付金	4 9 5 億円
・中山間地域等直接支払交付金	2 6 9 億円
(2) 「農泊」の推進と農山漁村の振興	
・農山漁村振興交付金	1 2 0 億円
・荒廃農地等利活用促進交付金	4 億円
(3) 鳥獣被害防止対策の推進	
・鳥獣被害防止総合対策交付金	1 1 0 億円
(4) 再生可能エネルギーの導入・活用の促進	
・再生可能エネルギー導入等の推進	3 2 億円
・木質バイオマスの利用拡大	4 億円

## “ふじのくに”で語ろう 土地改良が創る豊かな水土里を 第40回全国土地改良大会静岡大会

10月25日（水）、第40回全国土地改良大会静岡大会が沼津市のふじのくに千本松フォーラム プラザヴェルデで開催され、「“ふじのくに”で語ろう 土地改良が創る豊かな水土里を」の大会テーマの下、全国から約4,200名の農業農村整備関係者が参集し、岡山県からは石井正弘岡山県土地改良事業団体連合会会長をはじめ38名が参加した。

冒頭主催者を代表し、二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長が「来年度は改正された新しい土地改良法を基軸に、新たな展開を図る節目の年となる。これからも“闘う土地改良”は続いていく。私は、ある時は一番最後に、ある時は先頭に立って、皆さんと共に頑張っ参りたい。」と挨拶した。その後、川勝平太静岡県知事、大沼明穂沼津市長の歓迎のことばに続いて、谷合正明農林水産副大臣が「土地改良事業関係予算は、平成29年度当初予算と平成28年度補正予算を合すると、平成22年度の大幅削減前の水準にまで回復したところだが、全国の事業に対するニーズは依然として大きく、農林水産省としても、今後とも最大限の予算確保に努めるとともに、農業者が誇りを持ち、安心して活躍することのできる農業の生産基盤の確立に全力で取り組んでいく。」と祝辞を述べた。

土地改良事業功労者表彰では、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰45名に表彰状と記念品が授与され、岡山県からは星島啓之前灘崎土地改良区理事長が全土連会長表彰を受賞した。

その後、室本隆司農林水産省農村振興局次長による基調講演、静岡県富士宮市に移住し自然農法等に取り組む女優の工藤夕貴さんによる土地改良応援講演等が行われ、JA御殿場青壮年部の横山泉委員長が大会宣言を高らかに読み上げた。最後に次期開催県である宮城県土地改良事業団体連合会へ大会旗が引き継がれ、式典の幕を閉じた。

翌日は6コースに分かれ、国営事業地区等を視察。静岡の美しい自然や農村風景、歴史や文化にふれ、その魅力を十分に実感することとなった。



表彰された星島前理事長

### 大会宣言

日本一高い山、富士山。日本一深い海、駿河湾。燦々と降り注ぐ太陽。富士山や南アルプスの山々等がもたらした肥沃な土壌と豊かな水。

これらの恵みは太平洋の海の幸まで及び、造れないものは何もないほどに恵まれた静岡県において、農業は、人と人が出会い、触れ合いながら自然の恵みを受ける安心できる産業であります。

私たちは、心一つにして力を合せ、大地を耕しながら友を作り、家族を作ることによってつながっています。

しかしながら、生産額の減少や国際競争の荒波に直面する農業の現状は、農業の担い手の減少や耕作放棄地の拡大など、農業構造の変化が進み、その対策が急務となっています。

今後、若い人たちが希望を持って農業に従事できる環境を地域の力で整え、農山村の活力を向上させることが喫緊の課題であります。先の通常国会において「農業競争力強化支援法案」や「土地改良法等の一部を改正する法律案」をはじめ農業改革関連8法案が成立しました。

若い担い手が夢や希望を持てる新たな日本の農業を築くためには、競争力を備え、消費者ニーズに合致した質の高い農業を支援する産業政策と併せて、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を促進する地域政策が相乗的に効果を発揮する必要があります。

そのために、農山村地域の基幹産業として成長を続ける農業である「経済」、人と自然との共生により創造・継承される自然景観等である「環境」、自律と多様な主体の協働力に支えられた地域コミュニティである「社会」の、それぞれに持続性が確保された「強く、美しく、活力のある農業農村の創造」に努めていかなければなりません。

本日、ここに集う私たち「水土里ネット」は、「“ふじのくに”で語ろう 土地改良が創る豊かな水土里を」を合言葉に、農山村の土台を創る「土地改良」にしっかり取り組んでいくことを、ここ静岡の地から高らかに宣言します。

# 農業農村整備事業地域推進会議を開催

主催：岡山県土地改良事業団体連合会

岡山県土地改良事業団体連合会は、農業農村整備に係る最新情報の提供と意見交換を目的とした農業農村整備事業地域推進会議を開催。11月1日の備前会場を皮切りに県下3会場で、市町村長をはじめ、役場の役職員、改良区の理事長並びに役職員、岡山県の農業農村整備事業関係者等あわせて210名の参加を得た。



津山会場の様子

会議は、(1) 土地改良法改正について (2) 農地中間管理事業について (3) 岡山県の農業農村整備事業についての3項目を議題に、中国四国農政局、岡山県農地中間管理機構、岡山県農林水産部より情報提供が行われ、会議終了後に参加者から寄せられたアンケートでは「どの議

題も解り易い説明で概要は理解できたが、もう少し時間をとってもらい、もっとじっくりと説明を聞いてみたい」「土地改良区の運営（経営）、今後の在り方について、計画性を持って、もっと真剣に考えていかなければいけないと感じた」などの回答が寄せられた。

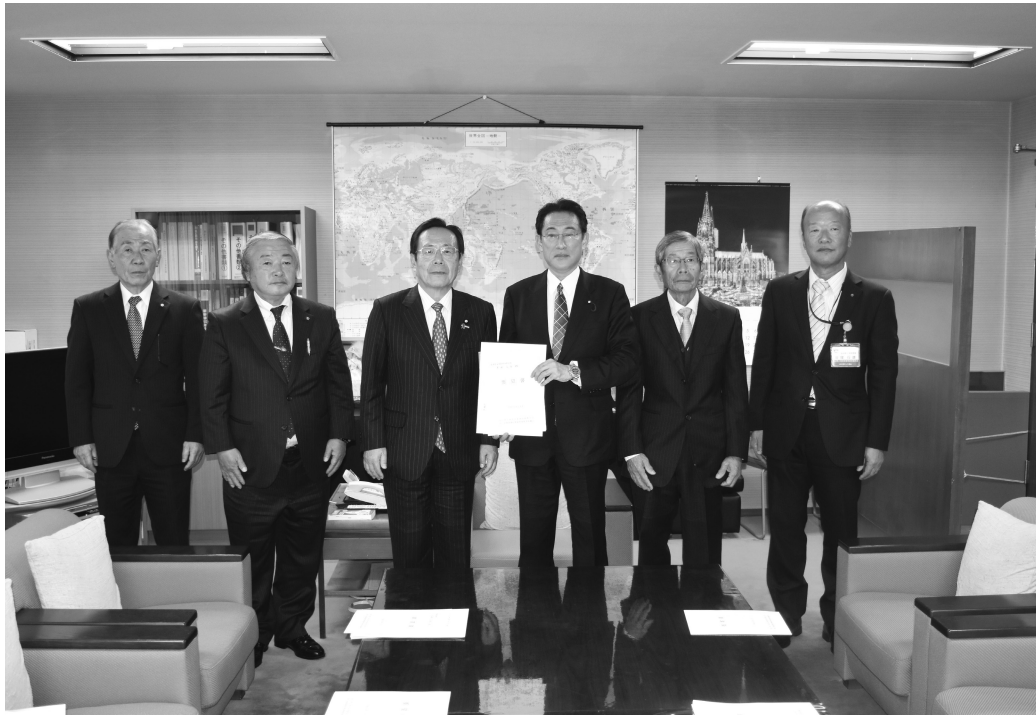
その後のフリー討論では、参加者同士がお互いの地域の実情等について活発な意見交換を行い、主催者や講師に対し事業等に関する質問、要望等が寄せられ、活気に満ちた会議となった。

議 題	講 師	
土地改良法改正について	中国四国農政局 農村振興部 土地改良管理課長	山田 敏久
農地中間管理事業について	岡山県農地中間管理機構 業務推進本部長	増本 信行
岡山県の農業農村整備事業について	(備前会場) 岡山県 農林水産部 参与	柏原 直樹
	(備中会場) 岡山県 農林水産部 耕地課長	堀田 忠弘
	(美作会場) 岡山県 農林水産部 農村振興課長	西田 豊

## 参加者集計表

開催日	会 場	参加人数内訳				
		市町村	改良区	岡山県	県土連	合 計
11月1日(水)	(備前) メルパルク岡山	14	39	11	15	79
11月6日(月)	(美作) 津山鶴山ホテル	11	47	8	11	77
11月8日(水)	(備中) アパホテル倉敷駅前店	7	25	11	11	54
	合 計	32	111	30	37	210

## 平成30年度農業農村整備事業関係予算確保に向けた要望活動 —岡山県土地改良事業団体連合会・岡山県農業農村整備事業推進協議会合同—

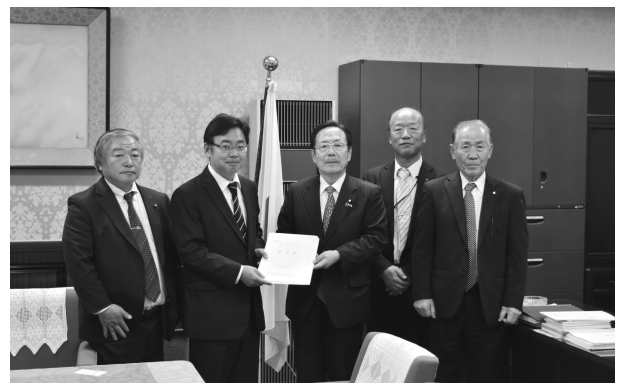


(岸田政務調査会長)

11月16日(木)～17日(金)、平成30年度農業農村整備事業関係予算確保に向けた要望活動を、自由民主党岸田政務調査会長や谷合農林水産副大臣、財務省、農林水産省、県関係国会議員に行った。今回の要望活動は、岡山県土地改良事業団体連合会と岡山県農業農村整備事業推進協議会が合同で実施し、岡山県土地改良事業団体連合会からは石井会長や、真庭市太田市長、牛窓町土地改良区神宝理事長、湯野土地改良区川上理事長、勝英土地改良区岸本理事長をはじめ、県、県土連合わせて10名が参加した。



(谷合農林水産副大臣)



(上野財務副大臣)

参加者は農業生産の向上や、食料の安定供給の持続に向けて、必要な農業農村整備事業予算の確保を訴えた。

主な要望項目は下記のとおり。

### 【要望項目】

- 1 経営強化のために必要な農業農村整備予算の確保について
- 2 国土強靱化の実現に向け、農村地域防災減災事業予算の確保について
- 3 多面的機能支払交付金予算の確保について
- 4 国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）の延長について

## 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて

### ー農業農村整備の集いー

11月15日（水）、砂防会館別館シェーンパッハ・サポー（東京都千代田区）において、全国水土里ネット主催による「農業農村整備の集い」が開催され、来賓の齋藤農林水産大臣や都道府県水土里ネット会長会議の進藤かねひこ顧問、衆・参両国会議員をはじめ、全国より1,200名を超える土地改良関係者出席のもと開催された。

はじめに、全国水土里ネットの二階俊博会長より開会の挨拶があり、続いて齋藤農林水産大臣、進藤顧問らが祝辞を述べた。

続いて、和歌山県の水土里ネット南紀用水より「南紀用水地域の紹介」、和歌山県みなべ町より「うめ産地の魅力を発信！」と題し、土地改良事業に関する事例発表があり、農業農村整備予算の確保に向けた要請文を全会一致で採択した。



最後に、水土里ネット宮城の伊藤会長の音頭で安定した食料供給を行うための農業農村整備の推進に向けて“ガンバロー”三唱で閉会したのち、各都道府県は地元選出の国会議員や各省庁に対して要請活動を行った。

## 第68回日本学校農業クラブ全国大会が岡山県内にて開催

10月25日（水）、第68回日本学校農業クラブ全国大会が、日本学校農業クラブ連盟主催のもと全国から331校・4,000人の農業学校関係者を迎え、岡山県内各地にて開催された。

本大会は例年、全国の農業高等学校が参加しており、農業クラブ活動を通してクラブ員の科学性、社会性ならびに指導性の育成を目的として実施されている。

大会は、プロジェクト発表会等の各部門に分か



れて実施され、平板測量競技会では岡山県土地改良事業団体連合会より7名の職員が審査員として審査に加わり、栄えある最優秀賞には福井県の福井農林高等学校が、岡山県の代表として出場した高松農業高等学校は見事、優秀賞を受賞した。

大会2日目には各部門の成績発表が行われ、自民党前農林部会長を務めた小泉進次郎衆議院議員（写真左）が駆け付け、「激変する世界で変わらないことは、人は食べなければ生きていけないこと。私も日本の食をさらに発展させていくために全力を尽くしていきたい」と農業の重要性を話された。



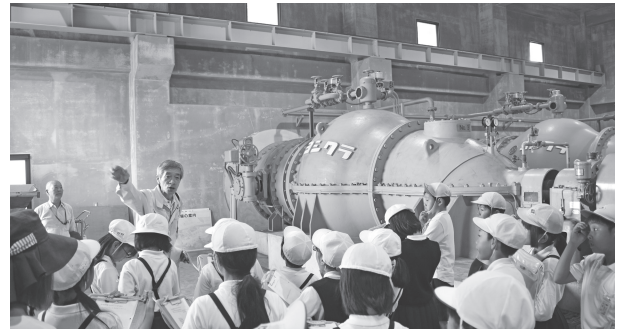
（小泉進次郎議員）

## 水土里ネット児島湾七区「土地改良施設見学会」を実施

10月3日（火）、土地改良施設見学会が児島湾七区土地改良区の主催により、岡山市立七区小学校の4年生児童19名の参加のもと行われた。

見学会は例年、岡山市立七区小学校の児童を対象に、児童たちが住んでいる地域の土地改良施設の歴史や大切さを学んでもらう事を目的に行っている。

今回、七区用排水機場や干拓堤防跡、通学路に隣接している幹線用水路などを見学した。



各施設では、講師を務めたNPO法人美しい田園21より、用排水機場にあるポンプや除塵機の仕組みや、土地改良施設が果たす役割等について説明があった。

参加した児童からは、「ポンプからすごい勢いで水が吐き出ているのに驚いた」、「自分たちが住んでいるところが昔は海だったなんて知らなかった」などの声が寄せられ、児童にとっては新たな発見となる機会となった。

## 農家負担金軽減支援対策事業のご案内

### ◇水田・畑作経営所得安定対策等支援事業

地域の中心となる経営体へ一定以上の農地の利用集積が達成できると見込まれる地域に対し、土地改良事業の農家負担額の6分の5に相当する額まで無利子貸し付けを行います。

#### ●事業内容

全国土地改良事業団体連合会の認定を受けた水田・畑作経営所得安定等支援計画に基づき、負担金の支払いの一部に充てる資金の貸し付けを行います。

【貸付条件】 ◇貸付限度額：土地改良事業の地元負担金の6分の5 ◇償還期限：25年以内（据置期間を含む）  
◇据置期間：10年以内 ◇償還方法：均等年賦償還 ◇貸付利率：無利子

### ◇災害被災地域土地改良負担金償還助成事業

一定規模以上被災した農用地又は土地改良施設等の受益地に係る負担金の償還利子相当額を土地改良区等に対して助成します。

#### ●事業内容

全国土地改良事業団体連合会の認定を受けた災害償還助成計画に基づき、営農再開までの負担金の償還利息に相当する額（ただし、被災年度から3年度分を上限）の助成を行います。

ご相談・お問い合わせ先  
岡山県土地改良事業団体連合会  
事業部換地課 TEL 086-207-2119

農業の担い手の減少や高齢化によって、耕作放棄地が増えて農地が十分に活用されていない状況です。  
大切な農地を守り、耕作放棄地を発生させないことが大切です。

◆11月、12月は「耕作放棄地解消強化月間」です◆

～農地いきいきキャンペーン～

“地域ぐるみで農地を守る日”を設けて、  
耕作放棄地を発生させない取組を進めましょう。



**Landes**

自然と文化のインターフェイスへ  
**ランデス株式会社**

本 社 岡山県真庭市開田 630-1 〒719-3192  
TEL 0867-52-1141 FAX 0867-52-3515  
ホームページ http://www.landes.co.jp

本社営業所 0867-52-1021 (代) 岡山営業所 086-287-7777 (代)  
営業所/本社 岡山・山陰・広島・東広島・山口・四国・大阪・東京・仙台  
工場/落合・久米南・鏡野・西原・倉敷・広島・山口・エクステリア



**大和クレス株式会社**

本社/〒703-8244 岡山市中区藤原西町2丁目7-34  
☎ (086) 271-1221 FAX (086) 273-4005

岡山営業所/〒703-8244 岡山市中区藤原西町2丁目7-34  
☎ (086) 271-1003 FAX (086) 271-1456

津山営業所/〒708-1125 津山市高野本郷1693-10  
☎ (0868) 26-5155 FAX (0868) 26-5241

長船工場/〒701-4625 瀬戸内市長船町福岡1508  
☎ (0869) 26-2040 FAX (0869) 26-4409

英田工場/〒701-2623 美作市英田青野75-1  
☎ (0868) 74-3125 FAX (0868) 74-3126

営業所 大阪・和歌山出張所・兵庫・広島・尾道・山口・四国・松山  
工場 豊栄・河内・兵庫・久万

**oaiwa** コンクリート二次製品 製造・販売

水路関連製品 環境保全型製品 ボックス関連製品 道路用製品  
擁壁製品 下水道用製品

地域のみなさまに  
信頼され愛される企業をめざして

コンクリート2次製品製造販売



**オカコン**

岡山コンクリート工業株式会社  
本社 〒703-8213 岡山市東区藤井288-1

TEL:086-279-0551 FAX:086-279-2918  
http://www.okacon21.co.jp

津山工場/TEL:0868-29-0237 〒708-1244 岡山県津山市上村677-1  
総社工場/TEL:0866-92-4666 〒719-1142 岡山県総社市業974  
熊山工場/TEL:086-995-2737 〒709-0704 岡山県赤磐市沢原795-1




**「緑の募金」**  
ご協力をお願いします  
緑の募金でふせごう地球温暖化

募集期間 口座振込はこちらへ

春のみどりの月間 4月1日～5月31日  
秋のみどりの月間 10月1日～10月31日

ゆうちょ銀行 01270-0-5225  
中国銀行岡山駅前支店 1852041  
トマト銀行岡山駅前支店 1027972

公益社団法人 岡山県緑化推進協会  
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

農地中間管理事業を活用しよう!!

農地を貸したい方 借りりたい方 大募集!

農地中間管理機構は農地の貸し借りをお手伝いします!  
まずは機構支部又は市町村役場まで、ご相談ください。


岡山県農地中間管理機構((公財)岡山県農林漁業担い手育成財団)

●機構本部 ☎086-226-7423 ●備中支部 ☎086-435-7720  
●備前支部 ☎086-212-2210 ●美作支部 ☎0868-23-1325

た農地を貸したい方! 経営規模を拡大したい方!

しちて農地を借りたい方! 農業にジョイ!

貸農地を貸したい方! 収入を上げて!



岡山県の土地改良 題字:石井正弘書 第591号 平成29年11月20日発行

発行所 ●岡山県土地改良事業団体連合会 〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目3番7号 県土連ビル  
☎086-225-0921 fax086-226-0068

総務部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館3F  
☎086-207-2200 fax086-207-2202 e-mail:info@okadoren.or.jp http://www.okadoren.or.jp

事業部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館2F  
☎086-273-2110 fax086-272-3937

事業部津山 〒709-4603 津山市中北下1300 津山市久米支所2F  
☎0868-57-7661 fax0868-57-7664

